れます。休日や夜間の入院治療を ら三次救急までの3種類に大別さ 本の救急医療は、 一次救急か



出動する救急車。24 時間体制の業務には昼も夜もありません

24 時 間体制で救急医 療に

対

応

すべての重症救急患者に、 提供できる機能を持っています。 救急医療を24時間体制で総合的に る患者の救命医療を目的に設置さ 重症患者や複数の診療科にわたる れている医療機関です。センターは ・脳卒中など生命の危険に直:救命救急センターは、心筋に救命を 心儿 高度な 筋梗 寒を

> ます。 が三次で、 険に直結する重度の患者への対応 要しない軽症患者への 次の救急医療機関に位置づけら る患者への対応が二次、 限られた医療スタッフで運 手術 (3ページ表-3参照) や入院などが必要とされ 救命救急センターは 対応 生命の が

4内には5つの病院に救命救急 高山赤十字病院に平成4年 が飛驒地域で唯 がありますが、 の機関 そのうち

セ

タ

1

0

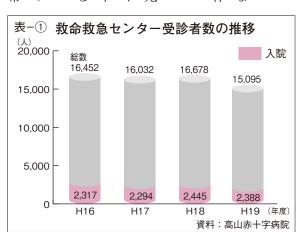
1 て、

きしむ救急医療

負担増す救命救急センターの現状

突然の病気や大けがをしたときに必要な救急医療。 現在、全国各地で医師不足などにより地域医療の崩 壊が進んでいるといわれていますが、私たちの暮ら す地域の救急医療システムは大丈夫なのでしょうか。 今月号では、飛驒地域における救急医療の現状に ついて紹介します。

てい 当 制で救急に備えています。 12月に開設されました。 休日に救 や比較的症状の軽い患者が夜間や ど4人の計10人とその他の待機 看護師2人、 小児科医が不足するなかで、 夜間 直 さらに、 ます。 医 かし、救急医療の現場 一があり、 |療スタッフの 0) 診 命救急センター 医師には月に約 (表一①、 療体制は、 薬剤師・医療技 当 直 明 負担 表一②参 け後も 医師 が増 4 で 4 集中 小児 通 回 師 は





高山赤十字病院救命救急センターの窓口。本来は二次救急医療機関 では対応できない重症患者を受け入れます